

相続税の申告書(続)

修正

○フリガナは、必ず記入してください。

フリガナ		財産を取得した人		参考として記載している場合	財産を取得した人		参考として記載している場合
氏名				参考			参考
個人番号又は法人番号		※控用には個人番号の記入は不要です				※控用には個人番号の記入は不要です	
生年月日		年 月 日 (年齢 歳)				年 月 日 (年齢 歳)	
住所 (電話番号)		〒 (- -)				〒 (- -)	
被相続人との続柄		職 業					
取得原因		相続・遺贈・相続時精算課税に係る贈与				相続・遺贈・相続時精算課税に係る贈与	
※整理番号							
課税価格の計算	取得財産の価額 (第11表2③)	①		円		円	
	相続時精算課税適用財産の価額 (第11の2表1⑧)	②					
	債務及び葬式費用の金額 (第13表3⑦)	③					
	純資産価額(①+②-③) (赤字のときは0)	④					
	純資産価額に加算される 暦年課税分の贈与財産価額 (第14表1④)	⑤					
	課税価格(④+⑤) (1,000円未満切捨て)	⑥			000		000
各人の算出税額の計算	法定相続人の数	遺産に係る 基礎控除額					
	相続税の総額		⑦				
	一般の場合 (⑩の場合を除く)	あん分割合 (各人の⑥) 算出税額 (⑦×各 人の⑧)	⑧		円		円
	農地等納税 猶予の適用 を受ける場合	算出税額 (第3表 ⑬)	⑨				
各人の納付・還付税額の計算	相続税額の2割加算が 行われる場合の加算金額 (第4表⑥)	⑩		円		円	
	暦年課税分の 贈与税額控除額 (第4表の2②)	⑪					
	配偶者の税額軽減額 (第5表①又は②)	⑫					
	⑩・⑫以外の税額控除額 (第8の8表1⑤)	⑬					
	計	⑭					
	差引税額 (⑨+⑩-⑬)又は(⑩+⑪-⑬) (赤字のときは0)	⑮					
	相続時精算課税分の 贈与税額控除額 (第11の2表1⑨)	⑯			00		00
	医療法人持分税額控除額 (第8の4表2B)	⑰					
	小計(⑮-⑰-⑱) (黒字のときは100円未満切捨て)	⑱					
	納税猶予税額 (第8の8表2⑧)	⑲			00		00
申告納税額 (⑲-⑳)	申告期限までに 納付すべき税額	㉑			00		00
	還付される税額	㉒	△				
この申告書が修正申告書である場合	小計	㉓					
	納税猶予税額	㉔			00		00
	申告納税額 (還付の場合は、頭に△を記載)	㉕					
	小計の増加額 (⑲-㉓)	㉖					
	この申告により納付すべき税額又は還付 される税額(還付の場合は、頭に△を記載) (㉑又は㉒)-㉕)	㉗					

第1表(続) (令和6年1月分以降用)

注 ⑩欄の金額が赤字となる場合は、⑩欄の左端に△を付してください。なお、この場合で、⑩欄の金額のうちに贈与税の外国税額控除額(第11の2表1⑩)があるときの⑩欄の金額については「相続税の申告のしかた」を参照してください。

←この申告書で提出しない人である場合(参考として記載している場合は「参考」を○で囲んでください(その人の分は申告書とは取り扱いません。))